



給食だより

社会福祉法人
虹福祉会
瀬戸こども園
2020年8月19日(水)
小田・土橋
松井

毎月19日は『食育の日』です。8月は、『お手伝い』についてお話します♪

家で過ごす時間が増えている今、お手伝いの機会もたくさんありますね！皆さんは家でどんなお手伝いをしていますか。“調理をさせるのはまだ怖いな”と思われるかもしれませんが、しかし、食事に関するお手伝いは『野菜の皮むき、切る』など、調理に関する事だけでなく準備や片付けをする事も立派なお手伝いであり食育です。大人にとっては簡単でも、子どもには難しい事もありますが、日々の生活の中で繰り返し行くと段々出来るようになります☆

こども園では毎日の給食やおやつ時間を活用し、子どもの年齢に応じた食育を行っていますよ(*^_^*)

～段階を追った取り組み～

〇うさぎ組(3歳児)

1年を通して自分の使う食器の準備・片付けを身に付けていきます。運び方や扱い方について、一つひとつ丁寧に声掛けをしています♪

給食のワゴンには食器の写真を貼っているので、写真を見て“何をどこに片付けるのか”を段々覚えていきますよ☆



写真：給食ワゴン

〇りす組(4歳児)

準備や片付けが出来るようになると、次は“丁寧さ”を心がけます。教室の机や床を汚さずに食べる為に、皿を持って食べる事を意識出来るように声掛けをしていますよ。汚れてしまった際には、「〇〇がこぼれたので、台拭きを下さい」等と職員に伝え自ら掃除をすることで、“自分のことを自分で”という習慣が身についていきます(*^_^*)

〇ぞう組(5歳児)

ぞう組になると自分の事に加え、人の為にも行動出来るようになります。給食では、ご飯を炊いたりお茶を注いだりと、当番の仕事を行っていますよ。子ども同士で「今日のご飯美味しいよ」や「お茶を注いでくれてありがとう」など、感謝の気持ちを伝え合う姿も見られます♡自分の力で出来ることが増え、個々の達成感にも繋がっているのですよ♪

食事は『生きた教材』と言われます。

食事時間が楽しいひとときでありながらもより一層

食に興味を持てるように、食器準備など家でも出来る

『お手伝い』に挑戦してみてもいいかな？(*^_^*)

